

# 校長だより

平成23年4月11日

校長 與那覇 健勇

自分を見つめる、進路を見つめる、自分を彫り続ける

～平成23年度「進路のしおり」発刊によせて～

今日までの努力が実を結び、憧れの読谷高校への入学を果たした皆さん、入学おめでとう。高校という未知の世界のスタートラインに立った気持ちはいかがですか。感動、期待、不安が入り混じって一言では言い表せない心境だと思います。

私は、この時期になるとかならず思い出すことがあります。高校入試の発表の日のことです。1004番が私の受験番号でした。その日は雨でしたが、講堂の奥のコーナーに掲げられたその番号を見たとき、なんとも言えない感動が大波のように襲ってきて、鼓動が高鳴り、天下をとった気持ちになりました。昭和46年の春のことです。

私は病気治療のために受験ができず、1年遅れて高校に入学しました。しかも県外の高校です。そこで3年間過ごしましたが、この凝縮された3年の高校時代が今の私を支えています。私の人生の中で一番つらかった時代であり、当時の私の心境からは今自分が校長であることなんてどうも考えられません。

高校の3年間は皆さんの一生を左右します。ここ読谷高校で、良き友、良き師と出会い、1日1日を大切に、昨日よりは今日、今日よりは明日と少しずつ前進していくことを望んでいます。

さて、この「進路のしおり」ですが、どの学校にもない抜群の出来です。進路部の先生方を中心に多くの先生方の英知と工夫を結集した素晴らしいものです。3年間の進路に関する情報が詰まっていることは言うに及ばず、個々の3年を見渡せる構成になっています。講演会の感想、家庭学習時間の記録、定期試験や模擬試験の結果等の記録ができます。この積み重ねが自分自身の成長の証しとなります。

「進路のしおり」に書き込みをすることは、一步一步自分自身の進路を形作り、自分自身の進路に掘り込みをいれ、自分という作品を完成させる手だてとなります。是非、書いて書いて、彫って彫って素晴らしい自分を完成させましょう。磨きぬかれた原石は、やがてダイヤモンドになります。永遠の輝きを放ちます。今日から頑張るぞ。